



世界が変わっても、ものづくりは止まらない。 ～グローバルレジリエンスが支える安定供給～

不確実性が高まる時代において、お客様に製品を安定してお届けすることは、SMICグループの重要な責務です。地政学リスクや自然災害、物流停滞など、さまざまな供給リスクに備えながら、グローバル規模でレジリエンスの強化を進めています。世界各地の製造・販売・技術拠点の連携に加え、原材料調達体制の強化や供給網の最適化を推進することで、変化に強いサプライチェーンを構築しています。

私たちは、お客様のものづくりを支え続けるパートナーとして、安定供給に取り組んでいます。

高まるサプライチェーンリスク

自然災害	材料調達リスク	地政学リスク	各国の規制強化
地震・洪水・嵐(台風)などの自然災害により、生産拠点や物流網が被災し、原材料・部材調達や製品出荷が停止するリスク。	原材料の供給不足や価格変動などにより、必要な部材を安定的に確保できなくなるリスク。	紛争や国際情勢の変化、経済制裁などにより、調達・生産・物流に支障が生じるリスク。	環境・人権・輸出管理などの規制強化に伴う、サプライチェーンの見直しや追加対応が求められることによる人的リソースリスク。

グローバルレジリエンスを支える3つの力

1. 世界をつなぐ生産ネットワーク

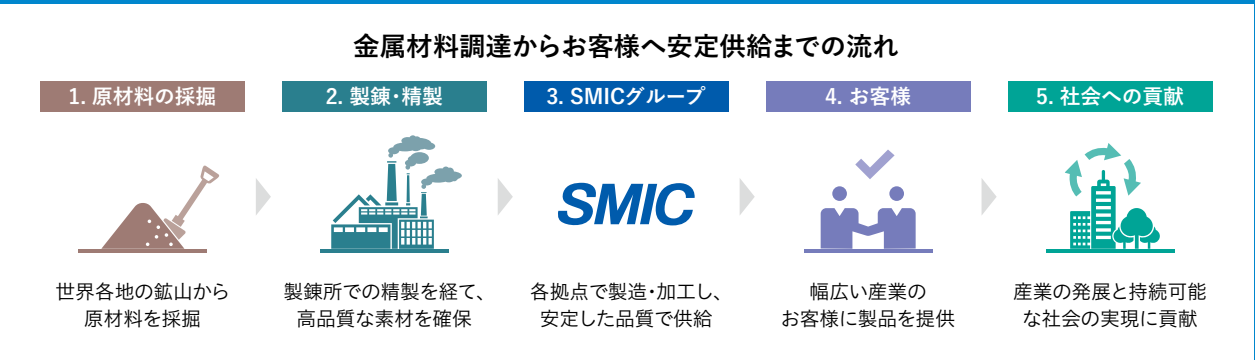
千住金属工業グループは、複数拠点での生産能力確保と地域の産業ニーズに合わせた生産ネットワークを構築しています。複数拠点で生産・供給できる体制を整備することで、さまざまな外部環境の変化に対応できるよう、供給継続性を高め、お客様への安定した製品供給を実現しています。

はんだ材料を各地域で生産・供給することで、物流負荷の低減やリードタイム短縮を図るとともに、自然災害や地政学リスクなどによる供給途絶リスクを低減しています。地域に根差した供給戦略と拠点間の連携により、世界中のお客様へ高品質な製品を安定的に供給しています。



2. 金属材料調達ネットワーク

はんだの主原料である錫は、アジアや南米、欧州など世界各国の複数の製錬所から調達し、原料産地を分散させています。これにより、地政学リスクや自然災害、紛争鉱物に関わる倫理リスクなどを低減しています。また、サプライヤーと長期的な信頼関係を構築することで、変化に強い調達体制を整え、安定供給を支えています。



3. 技術と知見をつなぐ人材育成

グローバルでの技術力向上と知見の水平展開を目的に、海外工場長会議を通じて製造技術の高度化や自動化の推進に取り組んでいます。また、品質をグローバルで統轄する体制のもと、強固な品質マネジメントシステムの構築を推進し、グローバル品質エンジニア育成研修を通じて、SMICグループ全拠点における品質保証レベルの均質化と向上を図っています。



変化に強い供給体制の構築へ

千住金属工業グループは、世界各地の拠点をつなぐグローバルネットワークを生かし、調達から生産・供給まで一貫したレジリエンス強化を進めています。これからも変化に強い供給体制を構築し、お客様への安定供給と社会の持続的な発展に貢献していきます。